

(様式3)

事業所名 グループホームひだまりの家

目標達成計画

作成日: 令和 6年 2月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	何度自己評価を行っても、この部分にいつも問題を感じている。 誰が聞いても耳ざわりの良い言葉がけができていないのか、全員がその方向に向いていけているのか課題であり、常にそうありたいと思って心がけていても、できていなければ問題である。	(1)利用者に笑ってもらえるような意識した声掛けをしていく。	①意図的に声のトーン、大きさ、早さを意識してケアをしていく。 ②1日1回9名の利用者が、それぞれ笑ってくれた場面を記録していく。	24ヶ月
2	同上	同上	(2)ゆとりを持って業務に取り組むことで、利用者を急がせたりせず待てる介護ができるようにしていく。	①職員の都合で業務が押し、結果的にゆとりがない日にしない。 ②早めの行動を心がける。 ③利用者の動線に合わせて行動することで、いらいらしない。	12ヶ月
3	同上	同上	(3)職員間でもコミュニケーションを大切に、笑顔で働きやすい環境づくりに努める。	①それぞれの所在をはっきりさせ、今誰が何をしているかがわかる。 ②ミニカンファレンスを大事にして、意見の言いあえる環境を作る。 ③お互いの良さを認め合い、助け合える人間関係を目指して行く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月